

## I 平成28年度の運営総括及び来期の課題

### 1. 乳幼児事業

#### (1) 総括

##### ①ちびっこ広場

毎週水曜日の午前中に「ちびっこ広場」を行っています。内容は絵本読み聞かせ、手遊び、親子体操、工作、誕生会等です。「ちびっこ広場」に参加することを楽しみに来館する親子が多く、みんなで歌ったり体操したりする楽しさを共有しています。毎月季節に合わせた「月の歌」を参加者皆で歌ったり広場の最後におなじみの体操をしたり、音楽を豊富に取り入れたリトミックを中心としたちびっこ広場を展開してきました。その結果、幼児が、音楽が聴こえるとリズムに合わせて踊ったり、日頃遊びに来る際に「月の歌」を親子で歌ったりする様子が度々見られるようになりました。

昨年まで頻繁に遊びに来ていた幼児の半数が保育園や幼稚園に入園し、今年度も新しい顔ぶれでイベントを行ってきました。味方地域の方だけでなく月潟地域・根岸地域・白根地域、区外・市外・県外からの来館も増え、利用者からの紹介や検診、育児相談で児童館を知り来館される方が多く、味方児童館が周知されてきていると感じました。

今年度も味方地区の親子サークル『りとりくらぶ』と共催で「ちびっこ運動会」、「ちびっこひなまつり会」などの季節行事を行うことができました。「ちびっこ運動会」、「ちびっこひなまつり会」は昼食が食べられるということもあり、とても人気のあるイベントです。食事の提供は、地域の食生活改善推進委員の方がボランティアで参加してくださっています。食物アレルギーのお子さんの除去食や、月齢の低いお子さんの離乳食など細やかな配慮をして下さり安心してみなさんで楽しく食事をする事ができています。祖父母が孫を連れて来館することも多く、祖母同士、祖母と母親などの異世代の交流も見られるようになりました。こうして地域で子育てするという環境ができ上がってきています。今後も利用者のニーズをしっかりと捉え、より楽しい、居心地の良い児童館を目指して管理運営を行っていきたいと思います。

##### ②つくって遊ぼう

毎月第2週水曜日、木曜日、金曜日に親子で一緒に工作を楽しむ行事として「つくって遊ぼう！」を行いました。子どもの月齢に合わせた季節の工作や、手作りおもちゃなど親子で楽しんで工作できるように工夫をしてきました。この行事を楽しみに毎回参加してくれる親子もいます。

##### ③ほっとティータイム

毎月第4週水曜日の午前中、ちびっこ広場の後に保護者向け、乳幼児向けの飲み物を提供する「ほっとティータイム」を行っています。5年目を迎え、イベントが浸透してきており、「ほっとティータイム」を楽しみに来館する保護者も増えてきています。味方地区親子サークル「りとりくらぶ」のメンバーも「ほっとティータイム」の日が活動日になっていてたくさん参加しています。飲み物があることで保護者同士が交流しやすく、

保護者の友だち作りの場になっています。日頃育児に追われている保護者の方が『ほっ』と、ひと息ついて、育児ストレスを発散できる場所になればと企画して始めた効果が表れてきているように感じます。

#### ④ママのためのリフレッシュタイム

平成24年度から、子育てを頑張っている母親（祖母）にリフレッシュしてほしいと思い始めた事業です。昨年度と同じく年に5回、保護者の方が楽しめてリフレッシュできるものを企画しました。4月には、お花の先生の資格を持つ職員を講師とし、『お花のいろあそび』と称してプチ生け花体験を行いました。参加した母親達からは、本格的にお花を習っている気分になった」、「きれいなお花を生けることで心が癒された」などの意見を頂き、とても好評でした。また、保護者の方へのアンケートでの「リラックスしたい」、「マッサージをしてもらいたい」、「ヨガがしたい」などの声を受け、疲労回復・リラックスするために足つぼマッサージを行いました。11月には、初心者でも無理なくできる内容の『ママピラティス』を実施しました。呼吸を整え、出産後の骨盤のずれや肩こり改善をテーマにした内容で行い、参加者からとても喜ばれました。今後も保護者のニーズを汲み取りながら、心と体をリフレッシュし毎日の子育てを楽しめるような企画していきたいと考えています。来年度も年に5回開催する予定です。

#### ⑤しゃべろっと

南区健康福祉課主催の子育て支援研修会に参加し、子育て支援リーダーとなった『子育てオーエンジャー☆みなみ』が中心となり、0. 1. 2歳の子どもの母親対象に支援を行っています。味方児童館を活動場所とし、育児中のちょっとしたストレスや愚痴を気軽にしゃべったり育児の悩みを相談し合うのが目的です。話しやすい環境づくりをするためにハンドトリートメントやお茶、お菓子も用意し、予約なしで気軽に遊びに来られるようにしています。7月のしゃべろっとでは、新たに『つくろっと』と称し、空き容器でマラカス工作をしました。作ったマラカスを使い、親子で楽しいリズム遊びの時間がもてました。また、昨年好評だった『心とからだを整えるママのためのプチヨガ』はそのままだ、ピアノ演奏付きの絵本の読み聞かせと子守歌を主とした『親子ふれあい遊び』では、今年はアロマセラピストの講師をお招きし、遊戯室でアロマを炊いた状態で行いました。参加した母親からは、「アロマの香りでもとてもリラックスできた」、「子守歌を聴いて癒された」などの意見を頂きました。

『子育てオーエンジャー☆みなみ』のメンバーは、地域の主任児童員の方が担っています。味方地区には、味方児童館の存在を知らない方や、知っていてもなかなか児童館へ一歩踏み出すことが出来ない方がいらっしゃるようです。そこで、地域の方と協力し、保護者が孤立しない、孤立させないためのケアを今後も続けていきたいと思っております。来年度も年に6回行う予定です。

#### ⑥就園児親子の利用数の増加

近年は就園児親子の来館数が非常に増えました。主には平日の夕方、幼稚園や保育園

を終えてからの利用が目立って増加しました。園から帰ってきてもまだまだ遊び足りず、夕飯前のもうひと遊びといった様子で多数来館します。そのほとんどが、未就園児だった頃に児童館を頻繁に利用してくれていた親子です。未就園児期から幼児期、小学生期まで、それぞれ利用時間帯や遊び方を変えながら、継続して利用者となっている流れができてきているのを、創設から丸8年経ち実感しています。

## (2) 来期の課題

### ①相談業務の充実

子育てに悩みを抱えて、誰かに話を聞いてもらいたくて来館する母親も多いと思います。『しゃべろっと』のようなイベント時だけではなく、常に母親達の悩みやストレスを受け止められる受け皿となれるよう、努めていきたいと考えています。ここ数年は、様々な子育て支援事業や講座の拡充に力を入れてきましたが、来期は、乳幼児親子との信頼関係が築けるよう、日常的な場面で乳幼児親子とのコミュニケーションを特に大切にしていきます。同時に、様々な相談に対応できるよう、職員のさらなるスキルアップにも取り組んでいきたいと思っています。保護者の心に寄り添い、気軽に話ができる居心地のいい児童館を目指していきます。

## 2. 小学生事業

### (1) 総括

今年度は小学生の利用が増加した年であったと感じています。例年、来館が少なくなりがちな新1年生や高学年の来館も多かったという印象でした。新1年生に関しては、幼児期に保護者と児童館に何度か来館したことがある子ども達が多く、既に慣れていたという理由があると思います。

味方児童館に遊びに来るこども達は、異学年・異学校の子ども達同士でも仲良く遊べるという点が非常に素晴らしいと思います。当たり前のように声をかけ合い、一緒にドッジボールやサッカーをして遊ぶ姿が毎日見られます。味方という地域柄と、小さな児童館ならではの特長と感じ、微笑ましく見守っています。

また、近年の傾向として、異学年・異学校の子ども達同士だけでなく、乳幼児親子との交流も盛んになってきていることが挙げられます。小学生達が自ら乳幼児の遊び相手を申し出て、乳幼児の母親達も快くそれを受け入れ、他愛ないおしゃべりをしながら楽しそうに交流する様子が見られます。双方に良い影響を与えており、これは0～18歳までの児童を対象としている児童館ならではの最大の長所だと感じています。今後も、この多世代交流の小さな芽を大切に、トラブルのないよう気をつけながら見守っていききたいと思います。

今年度の小学生向け行事は、毎週火曜日に行っている『なかよし広場』を軸に、『つくって遊ぼう』などの工作行事と、月に一回程度ドッジボール大会やオセロ大会などの行事を行いました。地域の方々から要望を受け、昨年度から始まった『移動児童館』はさらに回数を増やし、3回『味方ひまわりクラブ』に訪問しました。体遊びやレクリエーション、季節の工作など、様々なプログラムで行い、子ども達や職員の方々から「また

来てほしい」と好評を得ています。さらに、今年度新たに、味方小学校文化祭体験教室にて『カプラ』の講師を依頼され、『移動児童館』として、巨大な立体文字“味小”を子ども達と共に作り上げました。来年度の文化祭も小学校に何う予定になっています。

初年度から【子どもたちと一緒に作る児童館】を目標として掲げ、意識的に児童館運営を行ってきましたが、8年目となり徐々に味方児童館ならではの色がでてきているように感じます。毎年恒例となっているハロウィンパーティーでは、老人デイサービスセンター味方へ行き、ダンスや歌の披露、昔遊びをして利用者の方と多世代交流をしてきました。出し物を発表するために、自主練習や全体練習を積極的に行いました。また、コミュニティ協議会主催の敬老会に小学生が参加し、地域の方々の前でダンスを披露しました。その際の衣装や小物も、自分達で意見を出し合い、デザインし、工夫して納得のいくものを作り上げました。子どもたちの中で、“自ら行う”という気持ちが徐々に芽生えてきていると感じます。各行事後の片付けや掃除を積極的に手伝うことも増え、“自分達の使う児童館”として大切にしてくれている様子も見受けられます。今後も子ども達の気持ちに添いながら、一緒に楽しい児童館を作りあげていきたいと思えます。

## (2) 来期の課題

### ①子どもたちの自主性を高め、育てていく

今年度は小学生が自主的に、行事準備を手伝ってくれたり、幼児対象の新年お楽しみ会・ふゆまつりのボランティアを引き受けてくれました。職員がやっている仕事に興味津々といった様子で、「何してるの?」、「私もやりたい」と話しかけてくる子ども達が多くいます。ただイベントに参加するだけでなく、運営側にも回ってみたいという気持ちが芽生え始めてきているようです。そういった子ども達の自主性の芽を大切に、来期はより積極的に、小学生にも行事ボランティアの声掛けをしたり、企画・準備に携わってもらう機会を増やしていこうと思っています。運営側を経験することで異なる視点からの考え方を養い、子ども達の心の成長に繋がるとともに、子ども達が感じたことや学んだことを吸い上げ、【子どもたちと一緒に作る児童館】の実現に繋げていきます。

## 3. 中・高生事業

### (1) 総括

今年度は、昨年度よりもさらに中高生の利用が増えました。時間に余裕ができた時や、部活が休みのわずかな合間を見つけ来館し、現在の学校生活や友達の話、日頃感じていることなどを職員に報告している様子や、小学生達と一緒に遊んであげる姿が頻繁に見られました。中高生達にとって児童館は、日常生活のストレス発散や愚痴のこぼし場所、ちょっとした息抜きの場となっているようです。

今年新たな試みとして、味方中学校剣道部の生徒達と協力して計画を立て、『味中剣道部と遊ぼう!』というイベントを開催しました。剣道部の生徒達が自ら講師となり、小学生達に剣道を知ってもらうためのデモンストレーションや、スポンジ竹刀を使った剣道体験、ゲームなどをしました。小学生の前で堂々と進行をしてみせる中学生の姿は本当に立派で、成長を感じました。

12月には『クリスマス会』に味方中学校の吹奏楽部に来てもらい演奏会を開きました。毎年恒例となっており、幼児、小学生にとっては間近で素晴らしい演奏を見ることができ、また、中学生にとっては人前で演奏する練習機会となりお互いに良い体験をしました。

そして昨年度に引き続き、夏休み期間中に『中高生夕涼み会』を行いました。今年は味方中学校にご協力を頂き、生徒のランチの時間に、夕涼み会の告知と実行委員を募る時間を設けさせてもらいました。ポスターでの告知だけでなく、直接呼び掛けができたことでより多くの生徒達がイベントを知ることができたと感じています。残念ながら部活等で忙しく、参加人数は振るいませんでしたが、少人数ならではの温かく心おきない時間がもてたようでした。

また、おまつりでは、中高生がボランティアスタッフとして協力してくれ、大活躍してくれました。特に今年度は初めて高校生が自主的にボランティアに参加してくれたということが印象的でした。白根高校のご協力を得て、白根高校の生徒が3名、夏休みに遊びに来てくれていた高校生が1名、快く引き受けてくれました。地元の高校とこのような関わりをもつことができたことは非常に喜ばしいことです。この繋がりを大切に、今後もっと高校生が児童館に関われるような企画に繋げていけたらと考えています。

## **(2) 来期の課題**

### **① 中高生に児童館での“居場所”を**

開館時から中学生の来館数は約5倍に伸び、来館のなかった高校生も少しずつ増え始めました。小学生の頃から慣れ親しんだ児童館を思い出したまに來館してくれてはいるものの、中高生が長時間過ごすには物足りなさを感じたり、小学生だらけの中で居づらいこともあるようです。そんな、児童館を利用しようと思ってくれている中高生達が少しでも来館しやすいような工夫を考えていく必要があると感じています。その為には、イベント時に積極的にボランティアとして中高生を募る、小学生や乳幼児と関わってもらえるような機会を増やすなど、中高生の“居場所”を作っていくことに重きを置いて事業を展開していきます。また、そうした地域の方々との関わりや人の役に立つ経験が、心の成長や将来選択の一助にも繋がっていけばと考えています。

## **3. 地域との連携事業**

### **①味方地区公民館との連携事業**

- ・ 育児講座（6、3月）
- ・ 人形劇（7月）
- ・ 食育講座（7月）
- ・ 陶芸教室（7、8月）
- ・ 科学実験（12月）

**②味方小学校、おむすびクラブとの連携事業**

- ・校外学習（弥彦山登山）
- ・いきいき子ども塾「お寺に泊まろう」
- ・「自学おうえん隊」
- ・文化祭体験教室「カプラ」

**③味方中学校との連携事業**

- ・味中剣道部と遊ぼう！（11月）
- ・吹奏楽部演奏会（12月）
- ・おまつり生徒ボランティア（8、2月）

**④ボランティアとの連携事業**

- ・なつまつり
- ・将棋で遊ぼう
- ・新年お楽しみ会（百人一首大会）
- ・ちびっこクリスマス会
- ・ふゆまつり
- ・乳幼児行事・小学生クラブ（食育推進委員など）
- ・ちびっこ広場での絵本の読み聞かせ
- ・公昨材料の提供、花植え、瓢箪栽培、館内の風の展示ボランティアなど 多数